

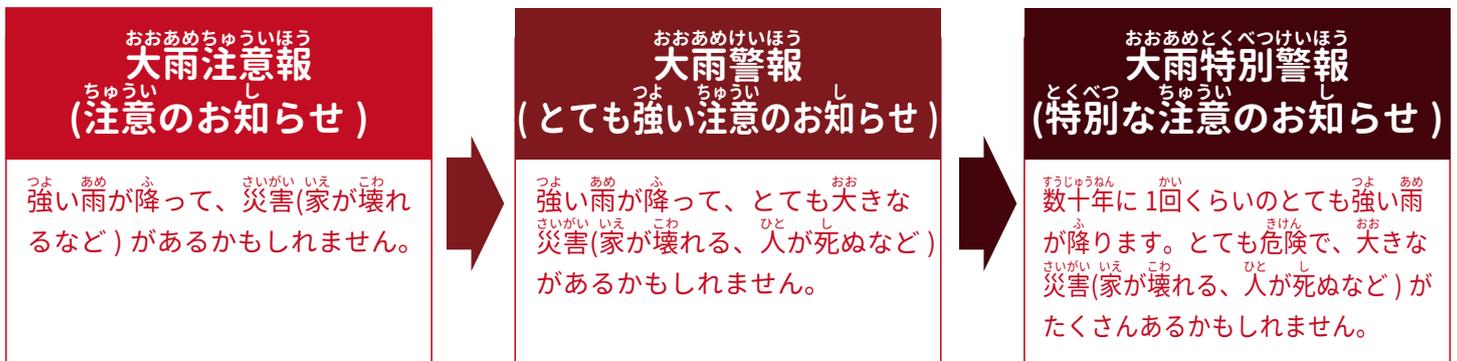
ふうすいがい つよ かぜ あめ たいふう 風水害(強い風や雨のトラブル)・台風について

つよ あめ たいふう
強い雨や台風は、ときどき大きい災害(家が壊れる、人が死ぬなど)になります。
いつも天気などの情報をよく見て、注意してください。

おおあめじょうほう
大雨情報をチェックして、自分の家の安全を守ろう!



おおあめちゅういほう ちゅうい し
大雨注意報(注意のお知らせ)・大雨警報(とても強い注意のお知らせ)・
おおあめとくべつけいほう つよ とくべつ ちゅうい し
大雨特別警報(とても強い、特別な注意のお知らせ)



とくべつけいほう
「特別警報」は、とても大きな災害(家が壊れる、人が死ぬなど)がすぐあるかもしれない、というお知らせです。

ひじょう
非常
事態

とくべつけいほう
「特別警報」が出たら

- ・いつもとちがう大雨や暴風(立つことができないくらい強い風)があります。
- ・とても大きい災害(家が壊れる、人が死ぬなど)になることを、考えなければなりません。
- ・死なないように、命を守るために、一番いい行動をしてください。

ひなんかんこく
ニュースなどで「避難勧告」が出たら、すぐに安全な場所に避難して(逃げて)ください!

そと あぶ とし いえ なか いちばんあんぜん ぼしよ い
外が危ない時は、家の中の一番安全な場所に行きましょう。

いえ そと に
「家の外に逃げたほうがいいかどうか」は、家の場所・どんな家か(古い/新しい、1階/2階など)、もう家の中に水が入っているかどうか、などで「はい・いいえ」が違います。大雨や台風の時に、急に考えて決めるのは大変です。その前に「どうすれば安全か」を考えておきましょう。

あめ 雨は、どのくらい強い？

(1時間の雨:mm)

10 mm以上～20 mm未満	20 mm以上～30 mm未満	30 mm以上～50 mm未満	50 mm以上～80 mm未満	80 mm以上～
雨の音で、人の話があまり聞えない。	雨がとてたくさん降っている。傘があっても、ぬれちゃう。	強い雨がずっとたくさん降って、道路が川みたいになる。	強い雨が滝みたいに降る。傘は使うことができない。	強い雨の音がとて怖い。死ぬかもしれないと思う。車を運転するのは危険。

かぜ 風は、どのくらい強い？

(風の速さ:m/秒)

10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～25m/秒未満	25m/秒以上～
風があって、歩くのが大変。傘を使うことができない。	風が強くて、歩けない。転ぶ人もいる。高い所で何かするのは、とても危険。	風が強すぎて、立つことが難しい。物が飛んできて、けがをするかもしれない。	家や建物の外で何かするのは、とても危険。走っているトラックが倒れる。

たいふう 台風

(風の速さ:m/秒)

大きさ(サイズ)	風速 15m/秒以上の時、 台風の真ん中からの距離	台風のレベル (ニュースで使うことば)	最大風速 (いちばん風が強い時)
大型(大きい)	500 km以上～800 km未満	強い	33m/秒以上～44m/秒未満
超大型(とても大きい)	800 km以上	非常に強い もうれつ 猛烈な	44m/秒以上～54m/秒未満 54m/秒以上

しゅうちゅうこうう 集中豪雨って何？

集中豪雨とは、急に・短い時間で・その場所だけ、とてたくさんの雨が降ることです。梅雨の終わりくらい(6月～7月)によくおきます。

集中豪雨がいつあるかを知ることは難しいです。集中豪雨があると、川の水が外に出てきたり、山の土・岩が家や道路の近くに急に出てきたりします。とても危ないですから、その前にニュースで天気の情報をよく見ましょう。そして、一番いい方法を考えることが大切です。

- ▶ ラジオやテレビなどの天気の情報・お知らせに注意する。
- ▶ 早く家に帰って、家族と連絡して、準備する。
- ▶ 非常時持ち出し品(P3でチェック)を準備しておく。
- ▶ 危険な地域(P1でチェック)では、いつでも逃げることができるように準備する。
- ▶ 停電(電気が消えてしまうこと)の前に、懐中電灯(大きいライト)や携帯ラジオなどを準備する。
- ▶ 浸水(家に水が入ってくること)の前に、家の中の大切なものは高い場所に置く。



きろくてきたんじかんおおあめじょうほう 記録的短時間大雨情報って何？

短い時間で、とても危険な大雨が降った時、降りそうな時のお知らせです。

(宮崎県は 120mm/1時間の雨の時にお知らせします)

どしゃさいがい やま つち すな いえ どうろ く 土砂災害(山の土・砂が、家や道路に来る)

おおあめ つよ あめ ふると、あめ かわ みず ちか みず ふ おお さいがい いえ こわ ひと し
大雨(強い雨)が降ると、雨で川の水や地下の水が増えて、大きな災害(家が壊れたり人が死んだりする)になる
ことがあります。その前に「土砂災害はどうしておきるか」を知って、どうすればいいかを考えましょう。

どしゃさいがいけいかいじょうほう 土砂災害警戒情報とは

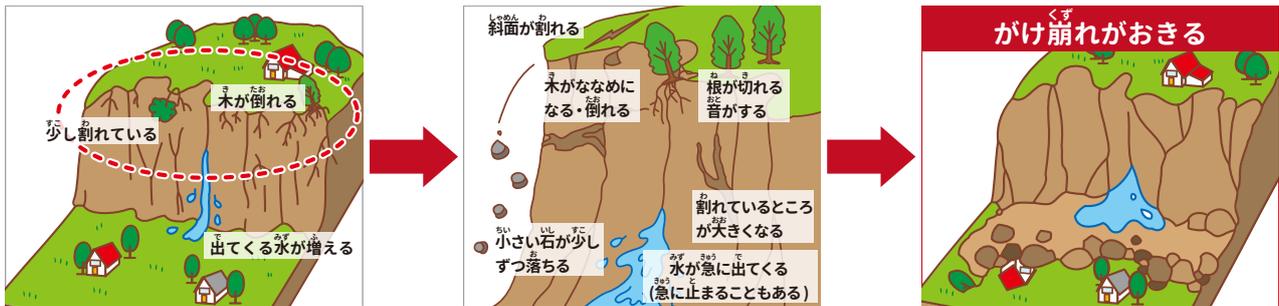
どしゃさいがいけいかいじょうほう おおあめけいほう し あと ひと し どしゃさいがい
「土砂災害警戒情報」は、大雨警報のお知らせの後に、人が死ぬかもしれない土砂災害があるかもしれない
とき だ ひなん に き みやざきけん きしやうちやう くに いっしょ
時に出します。みなさんが避難(逃げる事)を決めることができるように、宮崎県と気象庁(国)と一緒に
お知らせします。

くに けいかく くに どしゃさいがいけいかいじょうほう だ とき とどうふけん みやざきけん ひなんかんこく
※ 国の計画では「国が土砂災害警戒情報を出した時、都道府県(宮崎県など)はすぐに『避難勧告』
(警戒レベル4)などを出すこと」になっています。

どしゃさいがいけいけいじょうほう
土砂災害警戒情報がなくとも、「土砂災害があるかもしれないサイン(山から音が聞こえる、木が倒れそう、地面が割れる、川の水が汚くなる、など)」に気づいた時には、すぐに近くの人と安全な場所へ避難(逃げる)しましょう。大雨や台風の前に、危険な場所がどこか/避難する場所・避難する道はどこかを確認しておくことも、とても大切です。

くず がけ崩れ

じめん へい みず つち やわ
地面に入った水が土を弱くして、雨や地震で急に斜面(山を切っ、木がないところ)が崩れて落ちることで、がけ崩れは急におきるので、逃げるのが遅くなる人も多いです。がけ崩れで、けがをしたり死んだりする人も多いです。



どせきりゅう 土石流

ちやうじかん あめ しゅうちゅうごう
長時間の雨や集中豪雨(P4の下)の時に、山や川の下にある石・土砂が、急にたくさん家の近くなどに出てくることです。そのスピードは1時間に20~40kmという速度(車と同じくらい)で、家や畑などを全部壊してしまいます。



じ 地すべり

しやめん やま き
斜面(山を切っ、木がないところ)が、地下の水と一緒にゆっくり下に動くことです。地面がたくさん動くので、ものすごく大きな災害(家が畑が壊れたり人が死んだりする)になるかもしれません。地すべりが始まると、これを止めるのは、とても難しいです。

